



目的

複数のPCで個別に管理していたオンデマンド印刷用データを一元的に管理し保護する。同時に、工房内でのファイル共有を進めて業務の生産性を向上させる。

アプローチ

高信頼のWindows NASを採用しファイルサーバーとバックアップの統合環境を構築。ユーザーの手を煩わせることのないクライアント環境のバックアップを実現する。

ITの効果

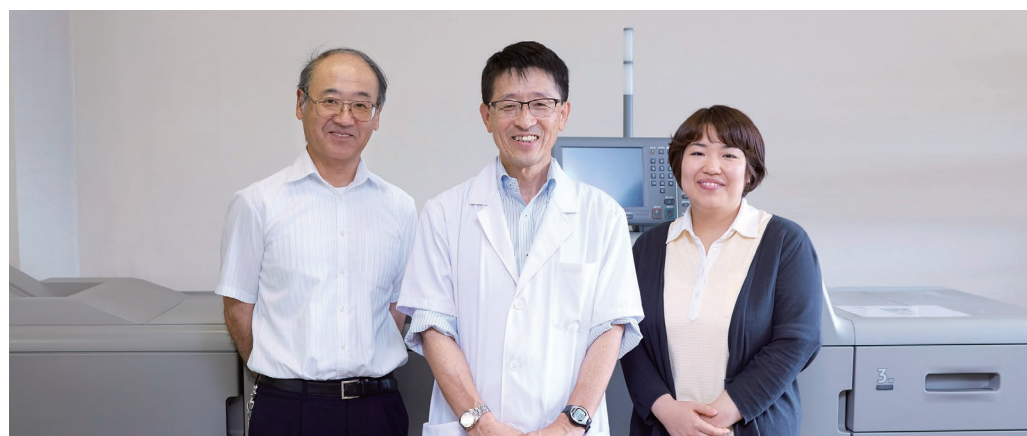
- Windows NAS製品 [HPE StoreEasy 1550] を採用しファイルサーバーとバックアップ環境を統合
- ユーザー操作不要でPCの自動的なバックアップを可能に
- コンパクトなタワー型サーバーで限られたスペースに収容

ビジネスの効果

- データ管理と保護の信頼性を大幅に向上
- ファイル共有により効果的な共同作業を推進
- 業務の生産性と収益性の向上に寄与
- タツノが設計・構築・保守をワンストップで提供

千曲工房が、ファイル共有とバックアップを統合し 安心で安全なデータ管理・保護・活用を実現

タワー型Windows NAS [HPE StoreEasy] を採用
高信頼なシステムにデータ管理を一元化し業務の生産性を向上



医療法人友愛会における就労継続支援B型 千曲工房が、Windows NAS [HPE StoreEasy] を採用して業務データの一元的な管理と保護を実現した。さらに、工房内での情報共有を進めて生産性向上に取り組んでいる。本システムの設計と構築をトータルに支援したのは、ITソリューションとオフィスサービスを手がける株式会社タツノである。

チャレンジ

障害福祉の一環としての印刷事業

長野県上田市を基盤に、精神科医療と福祉サービスに取り組む医療法人友愛会。上田の市街地を見渡す高台には、病棟とともに多機能型事業所などの関連施設が集約されている。中核をなす千曲荘病院の開設は1958年にまで遡る。医療法人友愛会 千曲荘病院の理事長・院長である遠藤謙二氏は次のように紹介する。

「千曲荘病院は、『愛・信頼・奉仕・希望』という理念に基づく精神科医療を長年にわたり提供してきました。病院の発展の歴史は、地域の方々とともに歩んできた歴史でもあります。2016年に介護保険事業に参入するなど、地域包括ケアシステムの中核事業体となることを目指しています」

多機能型事業所では、生活訓練及び就労継続支援B型の障害福祉サービスを提供している。多機能型事業所 ピア・ちくま 施設長の福田隆氏は次のように話す。

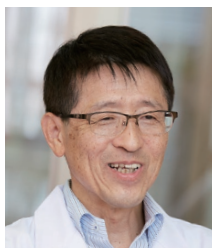
「一般就労に向けた必要な知識や対人関係の技術の習得をめざす場として、2006年に『千曲工房』が開設され、2011年からは就労支援として印刷事業を開始しました。千曲工房ではオンデマンド印刷機を導入し、冊子や年史、チラシなどの印刷を受託しています」

オンデマンド印刷機は、デジタルデータから手軽に高品質な商業印刷物を作成できる。地域のニーズに応えながら、仕事を受注し、働く場を提供していくことが「千曲工房」の事業構想である。

ソリューション

オンデマンド印刷のデータを安全に管理

印刷物の受託が順調に推移する中で、千曲工房では印刷用データの管理が課題になっていったという。「千曲工房」支援員の和田明日美氏は次のように話す。



医療法人 友愛会 千曲荘病院
理事長・院長
医学博士 遠藤 謙二 氏



医療法人 友愛会
多機能型事業所 ピア・ちくま
施設長 福田 隆 氏



医療法人 友愛会
多機能型事業所 ピア・ちくま
就労継続支援B型「千曲工房」
支援員 和田 明日美 氏

ソリューション概略

導入ハードウェア

- HPE StoreEasy 1550

導入ソフトウェア

- ESET File Security for WinSvr (ウイルス対策)
- Symantec System Recovery Desktop Edition (バックアップ)



Sign up for updates

**Hewlett Packard
Enterprise**



「印刷データは作業用PCに接続した外付ハードディスクで管理してきましたが、受託件数の増加に伴いデータの件数も容量も高まっていたのです。PCの不調などでデータを読み書きできなくなるリスクを感じながら、より安全なデータ管理の方法を検討していたところ、タツノさんから良い提案をいただきました」

タツノは、長野県を中心にITソリューションとオフィスサービス事業を幅広く手がけている。確かな技術力に裏づけられたサービスは、地元企業や自治体からの信頼が厚い。上田支店 IT 事業部技術統括の井出洋一郎氏は次のように話す。

「オンデマンド印刷用データを安全に管理するために、扱いやすいWindowsベースの『HPE StoreEasy』を採用したファイルサーバーとバックアップの統合環境をご提案しました。データをファイルサーバーで管理・共有可能にするとともに、作業用PCのデータを自動的にバックアップする仕組みを備えています」

タツノが提案した「HPE StoreEasy 1550」は、Windows Storage Server 2012 R2を標準搭載したNAS製品として中堅・中小規模企業や拠点向け用途で人気が高い。世界トップシェアを誇るHPE ProLiant Gen9サーバーをベースモデルに採用し、HPE iLO マネジメントエンジンによる優れた運用管理性を実現している。

「複数台のPC上にある印刷用データは、日次でHPE StoreEasy 1550へ自動バックアップされます。決められた時間にシステムが強制的に実行しますので、バックアップの取得忘れがありません。作業者に意識させることなく、安全にデータを保護できることが大きなメリットですね」と福田氏は評価する。

ベネフィット

データ共有を進め共同作業を効率化

HPE StoreEasy 1550によるファイルサーバー/バックアップの統合環境によって、印刷データの一元管理・保護が可能になった。万一、作業用PCのデータが破損しても、ファイルサーバーからユーザー自身の操作でデータを復旧できる。

「複数の作業者がHPE StoreEasy上で印刷データを共有して、効率的に共同作業を行えるようになりました。仕事のスピードが上がれば、より多くの案件を受託できるようになるでしょう。HPE StoreEasy 1550はフロアに設置できるタワー型で、オンデマンド印刷機の付近に邪魔にならずに設置できるところもいいですね」と福田氏は話す。

タツノ 上田支店 IT 事業部の樋口菜南氏は、「HPE StoreEasyは企業向けNAS製品として、主要なコンポーネントを冗長化するなど高い信頼性を備えています。万一の障害に際してはタツノが一次対応を行うとともに、日本ヒューレット・パッカーのオンサイト保守も受けられますので、お客様の業務への影響は最小限にできます」とコンシューマー向けNAS製品との違いを説明する。

そして、遠藤氏が次のように語って締めくくった。

「地域のニーズに応えながら、障害者の社会復帰に向けた技能の習得を図ること。さらに、収益性を高めて地域に貢献する事業として自立することも視野に入れていきます。タツノさんには、今後もIT活用のためのアドバイスと技術支援を期待しています」

詳しい情報

HPE StoreEasyについてはこちら
www.hpe.com/jp/storeeasy

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。Microsoft、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。記載事項は2016年10月現在のものです。本カタログに記載されている情報は取材時におけるものであり、閲覧される時点で変更されている可能性があります。予めご了承下さい。

© Copyright 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP 日本ヒューレット・パッカー株式会社

〒136-8711 東京都江東区大島2丁目2番1号

a00001691jap CPX13316-01 2017年2月